

「次期総合計画 基本構想（案）」に関する パブリックコメント手続の実施結果について

1 募集結果

意見数		15人（47件）
市の考え方 の区分	ア：次期総合計画基本構想（案）に意見を反映するもの	0件
	イ：意見の趣旨を踏まえ次期総合計画基本計画等の策定の取組を推進するもの	32件
	ウ：今後の参考とするもの	14件
	エ：その他（今回の意見募集の趣旨・範囲と異なる意見など）	1件

2 主な意見の概要（市の考え方の区分別）

ア：次期総合計画基本構想（案）に意見を反映するもの（0件）

イ：意見の趣旨を踏まえ次期総合計画基本計画等の策定の取組を推進するもの（32件）

- ・「基本理念」「将来像」が絵に描いた餅にならぬよう、実際の取組につなげる必要がある。
- ・外国人市民が活躍できる環境整備、人権尊重の理念定着にはヘイトスピーチへの対応が急務。
- ・交通ネットワークの更なる充実を図ってもらいたい。（次項の 参照）
- ・相模総合補給廠一部返還地のまちづくりは、よく検討すべき。（次項の 参照）
- ・リニア中央新幹線の乗客が帰宅困難者となった際の体制を整備すべき。（次項の 参照）

ウ：今後の参考とするもの（14件）

- ・全体に文章が長く、個々の問題、政策がはっきりしない。
- ・市民の意見や提案を聴こうとしない。「協働」の言葉を多用しているが、実態が伴っていない。
- ・生涯にわたり成長、活躍するためには、公民館をいかすのが最善の方法。使用料を無料に戻し、専門の職員を置くべき。
- ・緑区青山にある帝京大学グラウンドの火葬場建設地はリスク災害に市民を巻き込むもの。

エ：その他（今回の意見募集の趣旨・範囲と異なる意見など）（1件）

- ・自治会などの地域団体へも、個人情報の取扱いの重要性について周知すべき。

3 主な意見の概要（提出数の多いもの）

交通ネットワークの充実について：4件（提出人数：4人）

意見の趣旨（抜粋）	市の考え方の概要（区分「イ」に該当）
<p>あらゆる人が快適に移動できる交通環境の形成が重要なため、「交通のバリアフリー」を追加してほしい。</p> <p>バスの増便、コミュニティバスの充実、及び運転免許の自主返納者に対する無料パスの発行が必要と考える。</p> <p>交通ネットワークの形成については、広域よりも、市内の交通網整備が先ではないか。</p>	<p>政策3「高齢者や障害者の社会参加への取組や地域生活への支援に向けた環境づくり」、及び政策9「人口減少、超高齢化などの社会の変化に適應できるまちづくり」に考え方が含まれている。</p>
<p>小田急多摩線の延伸を進めてほしい。</p>	<p>政策9「広域交通ネットワークの形成に伴う経済・交流圏域の拡大」に考え方が含まれている。</p>

相模総合補給廠一部返還地のまちづくりについて：2件（提出人数：1人）

意見の趣旨（抜粋）	市の考え方の概要（区分「ウ」に該当）
<p>「活力と魅力あふれる都市」の実現のためには、他地域との厳しい競争にさらされる環境であるという自覚と、それに対する戦略・施策が必要である。</p> <p>利便性を向上させ、価値をより高めるためには、コンベンションセンターや美術館ではなく、他地域に流出しにくく定期的に開催される興行、観戦、及びホスピタリティを重視したスポーツ施設、特に球技専用競技場の設置を希望する。</p>	<p>活力と魅力を生み出すまちづくりには、多様な主体との連携・協働による地域の伝統文化や文化芸術活動の振興が重要であるという認識のもと、政策12の表現としたもの。相模総合補給廠一部返還地のまちづくりについては、多様な交流機能を備えた新市街地をコンセプトとしており、いただいたご意見も参考に、効果的な方策について、今後、多角的に検討していく。</p>

リニア中央新幹線の整備に伴うまちづくりについて：7件（提出人数：5人）

意見の趣旨（抜粋）	市の考え方の概要（区分「イ」、「ウ」に該当）
<p>少子高齢化の中で市が発展し続けるためには、人を呼び込むことが重要であり、リニア中央新幹線の駅設置はチャンスである。</p> <p>リニア新幹線による経済効果は、期待できない可能性が高いと思われる。その理由は、橋本で降りて観光地に行く可能性が少ないためである。</p> <p>リニア中央新幹線の乗客が「帰宅困難者」になった時、地元の受入れ許容量を超えた対応が必要にならないよう計画が必要である。</p>	<p>持続可能なまちを形成するためには、地域の特性や圏央道、リニア中央新幹線などの広域交通ネットワークの形成に伴う経済・交流圏域の拡大をまちづくりに生かし、更なる活力と魅力を生み出す取組が求められているという認識のもと、多様な機能が集積した広域的な拠点の形成を進める必要があると考えている。</p>
<p>リニア中央新幹線開発で起こり得る災害への対応を、よく検討すべきである。</p>	<p>リニア中央新幹線の整備に際しては、引き続き、事業者であるJR東海に対し、万全の対策を講じるよう求めていく。</p>